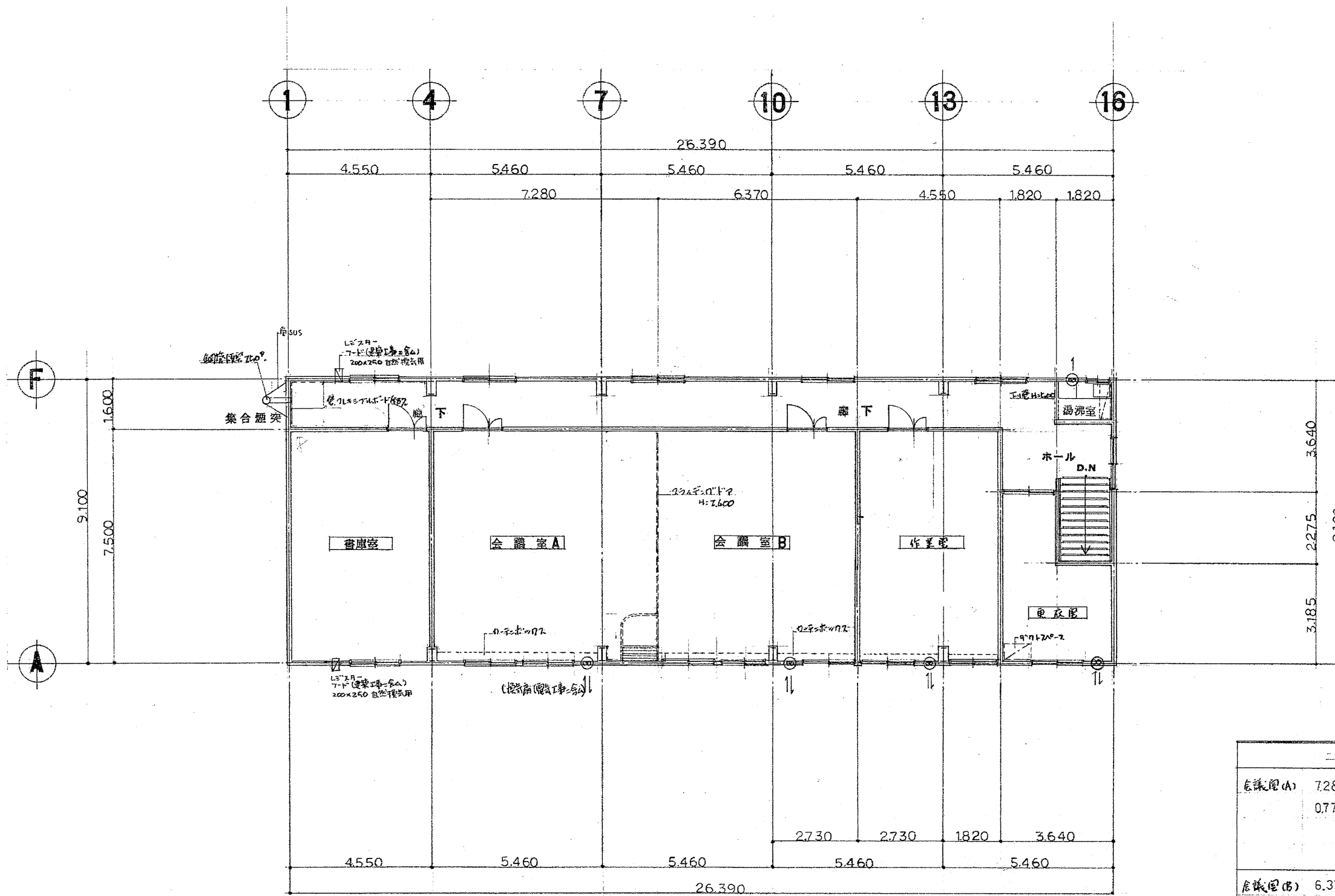


1階平面図 床面積 240.149

排煙計算式	
事務室	$\{(22.750 \times 9.100) - \{(0.91 \times 0.91) + (2.730 \times 0.91)\}$ $+ (3.640 \times 4.550) = 187.15$ $187.15 \times \frac{1}{50} = 3.743 \text{ (必要排煙面積)}$ $0.775 \times 0.770 \times 8 \text{ 所} = 4.774 \text{ (有孔排煙面積)}$ $3.743 < 4.774$
教育長室	$3.640 \times 4.550 = 16.562$ $16.562 \times \frac{1}{50} = 0.33 \text{ (必要排煙面積)}$ $0.775 \times 0.770 \times 2 \text{ 所} = 1.193 \text{ (有孔排煙面積)}$ $0.33 < 1.193$

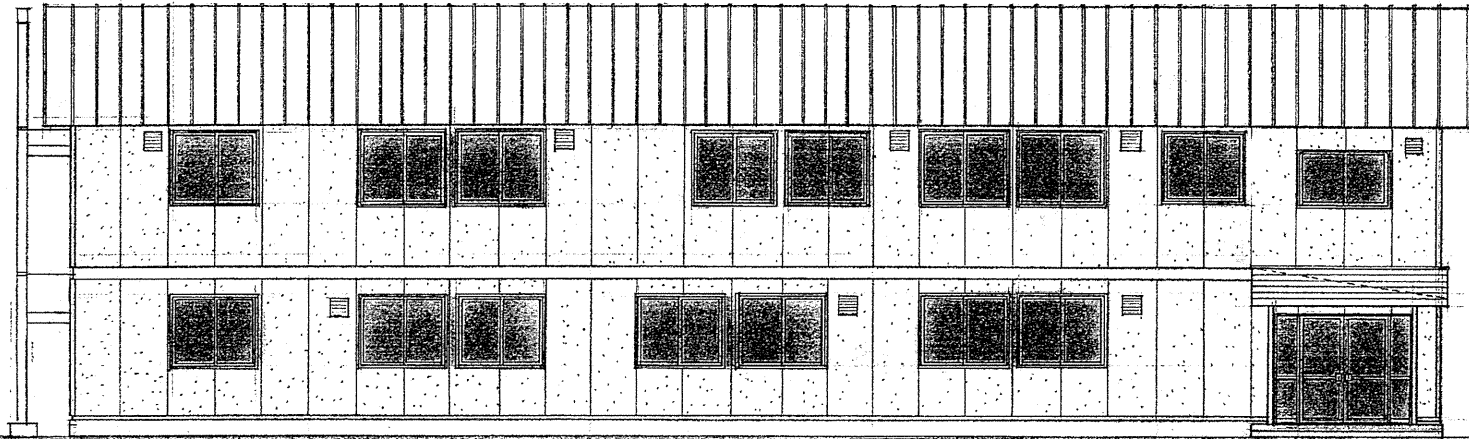
工事名 広島町第3庁舎新築工事 設計図	図面内容 1階平面図	縮尺 1:100	昭和54年4月 図面番号 No. A-007 枚の内	所長 検図 担当 製図	特記事項	訂正	有限会社 荻原建築事務所	一級建築士登録第45076号 荻原重男 一級建築士事務所登録 (石)第433号



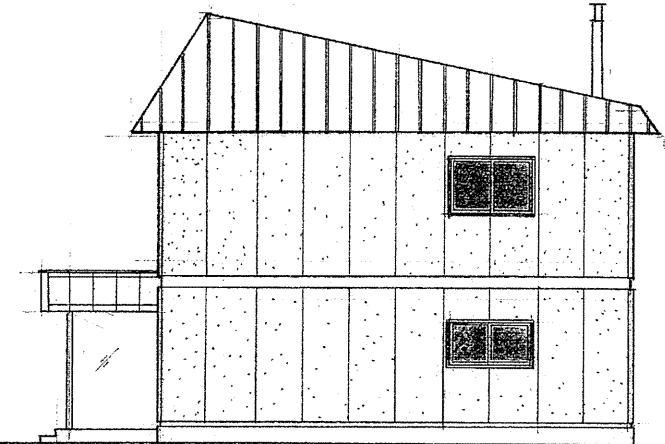
2階平面図 床面積 240.149

二階地計算式	
会議室(A)	$7.280 \times 7.500 \times \frac{1}{50} = 1.092$ (必要排煙面積) $0.775 \times 0.770 \times 2 \text{ヶ所} = 1.193$ (有孔排煙面積) $1.092 < 1.193$
会議室(B)	$6.370 \times 7.500 \times \frac{1}{50} = 0.955$ (必要排煙面積) $0.775 \times 0.770 \times 3 \text{ヶ所} = 1.790$ (有孔排煙面積) $0.952 < 1.790$
作業室	$4.550 \times 7.500 \times \frac{1}{50} = 0.6825$ (必要排煙面積) $(0.775 \times 0.770) + (0.70 \times 0.77) = 1.135$ (有孔排煙面積) $0.6825 < 1.135$

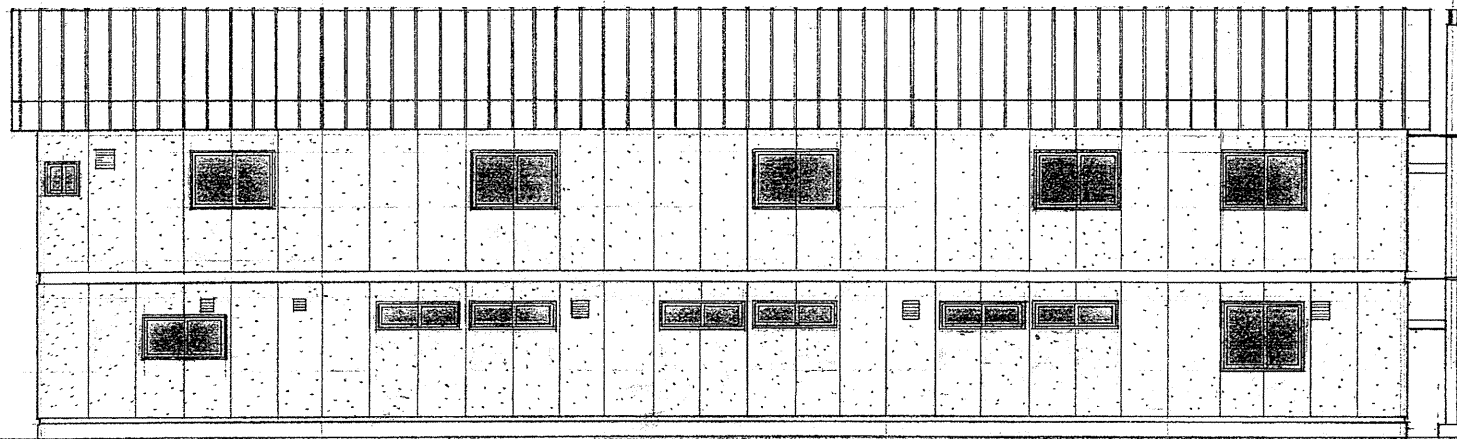
工事名 広島町第3庁舎新築工事 設計図	図面内容 2階平面図	縮尺 1:100 1: 1:	昭和54年4月 図面番号 No. A-008 枚の内	所長 検図 担当 製図	特記事項	訂正	有限会社 萩原建築事務所	一級建築士登録第45076号 萩原重男 一級建築士事務所登録 (石)第433号



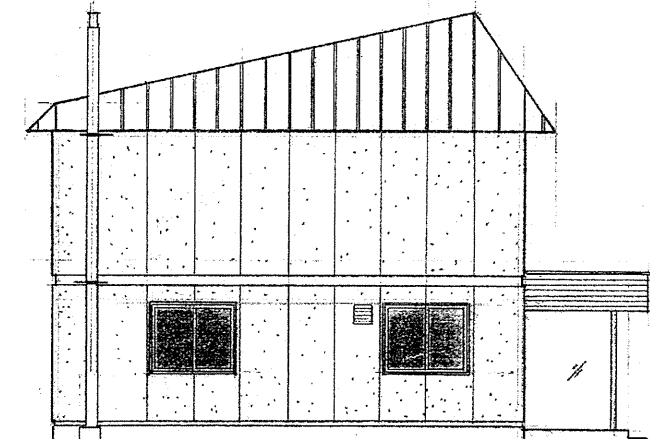
北立面図



西立面図

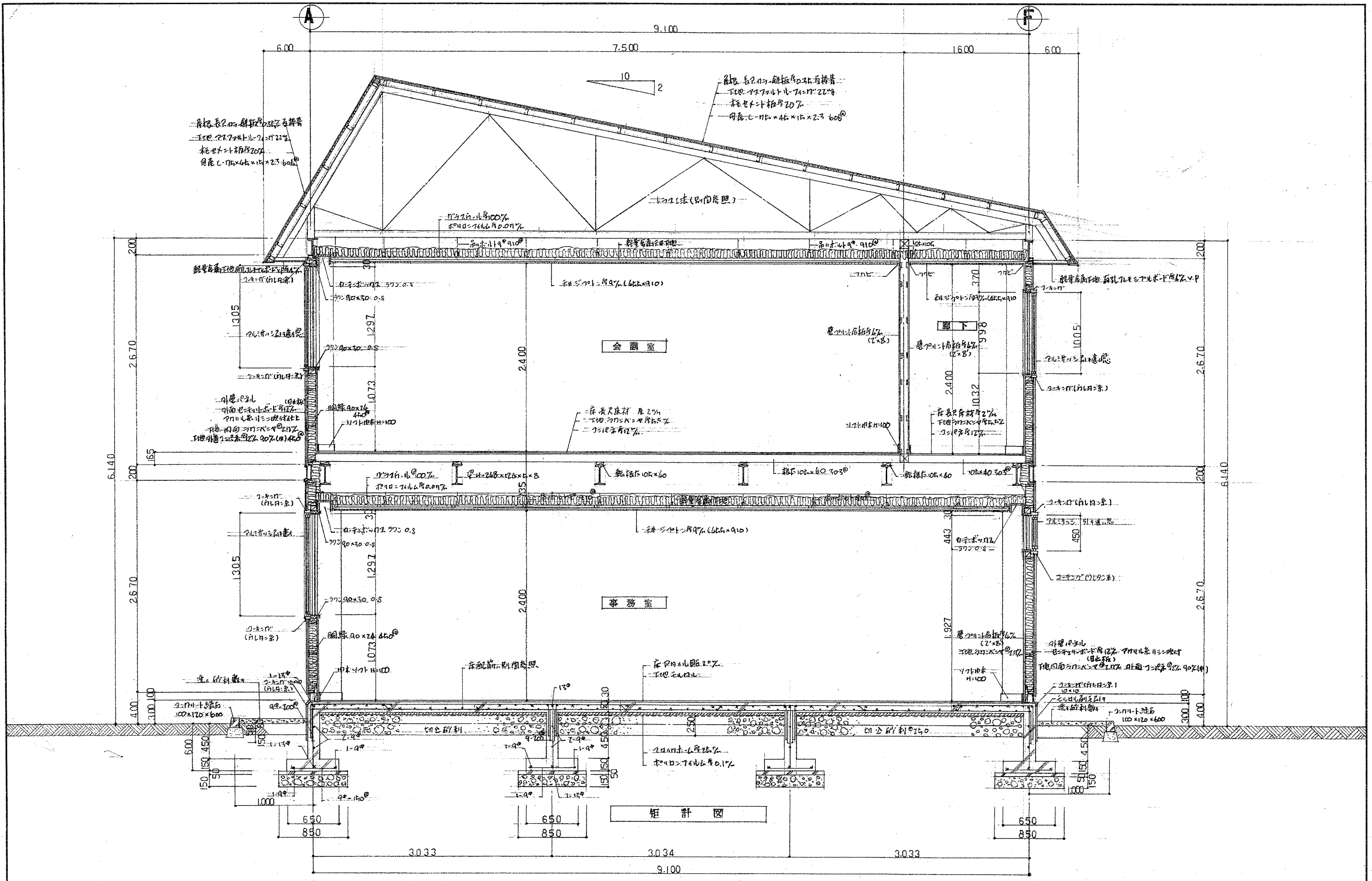


南立面図



東立面図

工事名 広島町第3庁舎新築工事 設計図	図面内容	縮尺	昭和54年4月	所長	検図	担当	製図	特記事項	訂	正	有限会社 荻原建築事務所 一級建築士登録第45076号 荻原重男 一級建築士事務所登録 (石)第433号
	立面図	1:100	図面番号								
		1:	No. A-009								
		1:	枚の内								



工事名 広島町第3庁舎新築工事 設計図	図面内容	縮尺	昭和54年4月	所長	検図	担当	製図	特記事項	訂正	一級建築士登録第45076号 荻原重男 一級建築士事務所登録 (石)第433号
	矩計図	1:30	図面番号							
		1:	No. A-010							